

「うつくしの杜・子供食堂」の活動を見学してきました。

2023/12/21（木）広島市内、寺町電停近くの廣瀬神社を会場にクリスマスパーティーが開催されるということでお邪魔してきました。「うつくしの杜・子供食堂」は5年程前から月に一度、廣瀬神社の社務所を会場に子ども食堂を開いております。12月は、ちょっとプレゼントや簡単なゲームが用意された特別バージョン。夕方4時を過ぎると、少しずつ小中学生が集まってきました。食事に来る、というよりは近所の神社にみんな遊びに来ている感じです。



子どもたちが境内で遊んでいる間も、着々と食事が出来上がっていきます。今日のメインは「おでん」。10人近いメンバーによって、手際よく準備されていきます。

この日は、トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校(以下トリニティカレッジ)の学生、杉田さん他の皆さんも活動に参加され、子供達のプレゼントを渡したり、ゲームをしたりと、子供達を楽しませていました。

トリニティカレッジの太田先生によると、学生自身の「子ども食堂に関わりたい」という思いを知り、うつくしの杜・子供食堂さんに受け入れていただいたとのこと。メンバーの皆さんも「若い人が来てもらえると雰囲気も変わって良いですよ」と話していただきました。学校の単位認定されるわけでもなく、純粋に自主的な活動をしているところは素敵だな、と感じました。



リーダーの木下さんは立ち上げ当初、かなり苦労されたそうです。特に会場探し。そうした中、廣瀬神社で社務所が新しく作られました。宮司の渡部さんは「地域の人たちが集まれる場所にしたかった」と、社務所の半分のスペースと、厨房関係一式を、この活動に提供されています。かすかに雪が舞う中、子供たちが神社の境内を走り回る姿が印象的でした。



食事の後は、みんなで片付け。子ども食堂は、単に食事を提供するというより、世代の異なる色々な人を繋ぐ居場所になっていることを感じることができました。トリニティカレッジの皆さんにも、忙しい中、記念撮影にお付き合いいただき、有難うございました。

(朝野)